第 1 版：2022 年 10 月 12 日

オプトアウト用公開文書

研究名称

『妊娠 34 週以降の分娩で生じた RPOC の自然消失に関する検討』

１．研究の対象

2013 年 1 月から 2022 年 3 月までの間に近畿大学病院で RPOC と診断され、管理を施行した患者。

＊RPOC：流産、分娩後に妊娠付属物（胎盤、卵膜）の一部または大部分が娩出せず、子宮腔内に残留すること

２．研究目的

分娩後に RPOC と診断された患者にどのような加療を行うのが良いかを明らかにすることを目的とします。

３．研究実施期間

2022 年 10 月 26 日（近畿大学医学部長の研究実施許可日）から 2024 年 6 月 30 日迄

４．研究の方法

研究対象者の下記の情報をカルテより収集します。

① 患者背景

年齢、妊娠回数、流産回数、分娩回数、既往歴、妊娠方法、分娩週数、分娩方法

② RPOC 所見

RPOC 診断時の直径、CT/MRI での RPOC の血流の有無、診断時の血中 hCG 値

③ 転機

RPOC 消失の有無、待機中の出血や感染、子宮動脈塞栓術の有無、胎盤用手剥離術の有無、子宮鏡手術の有無、子宮内容除去術の有無、輸血の有無検査後治療継続期間、治療内容、再妊娠・再流産の有無、生児獲得の有無、血中 hCG 陰性化の有無

＊集されたデータは本研究の目的以外に利用することはありません。

５．研究組織および利用する者の範囲

研究責任者

近畿大学医学部 産科婦人科学教室　松村謙臣

研究実務担当者（解析・情報収集）

近畿大学医学部 産科婦人科学教室　藤島理沙

近畿大学医学部 産科婦人科学教室　葉宜慧

近畿大学医学部 産科婦人科学教室　川﨑薫

近畿大学医学部 産科婦人科学教室　城玲央奈

近畿大学医学部 産科婦人科学教室　森内芳

６.情報の管理について責任を有する機関

近畿大学医学部

７．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の相談窓口までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。

また、患者様が特定できる情報（患者様氏名・カルテ番号）については削除され、匿名化されておりますが、あなたの情報を研究に利用する事を希望されない場合は相談窓口に連絡下されば利用する事を停止致します。情報利用を希望されなくても、あなたに不利益を被る事はありませんのでご安心下さい。

この研究は近畿大学医学部倫理委員会で患者さまの安全や人権に問題を生じる可能性がないかについて審査されています。近畿大学医学部倫理委員会で承認を受けた後、医学部長による許可を受けて実施します。

【相談窓口】住所：大阪府大阪狭山市大野東 377-2
電話：072-366-0221　内線　3215
担当：近畿大学医学部産科婦人科学教室　藤島理沙